

学校に行けない児童生徒と一緒に一歩踏み出す事業

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

昨年度、学校に行けない児童・生徒の支援事業として、フリースクール利用している生徒の利用料に補助する事業が始まりました。また、今年度から、学校に行けない、また教室に入れない児童・生徒の社会的自立を助ける事業として「ステップ・プログラム」事業が始まりました。その概要と地域に作られた多世代交流ハウスの

SFプログラム事業

今まで、学校に行けない、また教室に入れない児童生徒については不登校コーディネーターの活用、教育支援センター「みのり」、民間のフリースクールの活用などを行ってきました。更に積極的に、市が支援するSF (Step・Forward) プログラムを導入して、いろいろな関係者との連携をはかり、学校に行けない児童生徒を支援する事業です。本年度は双葉中学校の1室（出入口は学校とは別）で、ガイド・ウォーカー（社会自立支援員）が、児童生徒の自分の未来への一歩を踏み出すお手伝いを行うとしています。（左図を参照ください）

多世代交流ハウス

米原市夫馬に作られた「多世代交流ハウスプラッタトホーム」です。江戸時代に建てられ空家となっていた古い農家を山田さんが購入し改築して本年1月から進めてこられました。資金はクラウドファンディング

や補助金を活用されています。本格オープンはまだ7月か

おどなもこどもも みんな集まれ!!
多世代交流ハウス
ぶらっとほーむ

多世代交流ハウスって何?
みんなが先生で、みんなが生徒。年齢に関係なく、みんなを元気に趣味や特技を活かして、出来ることを楽しむ場所。

遊びの中から学びがいっぱい
おどなもこどもも、遊びの世界を分かち合おう!

活動内容
世代や立場をこえて、お互いの生活を尊重しながら、共に楽しみあえる仕組みのある居場所作り
みんなが参加できる健康体験教室の開催
趣味や特技を活かした、講座やワークショップの開催
季節のイベントを開催し、地域に開かれた高齢者と多世代の交流の場の提供

1月より少しずつ開けていきます
（利用日等、お問合せください）
利用料金半日500円、ワークショップ、講座のんびり読書など、自由に利用ください

滋賀県米原市夫馬600番地
電話 070-3359-4773
代表 山田

健康福祉教育常任委員会協議会資料
令和5年5月17日提出
担当：教育部学校教育課

Step Forward Program

ステップ・フォワード・プログラム

教室に入れない生徒の社会的自立を助けます。

一緒に一歩踏み出す場所
SF Space (Step Forward Space)

Guide Walkerの助けにより

- 児童生徒が自分の未来への一歩を踏み出します。
- 社会的自立に向け、友達と協働学習をします。
- 生活エネルギーをためて社会貢献を経験します。

【その他の職務】

- 不登校コーディネーターとの連携
- 学級担任、学年との連携
- 教室に入れない生徒の保護者との相談窓口
- 教育支援センターや民間団体との情報共有

Guide Walker 社会自立支援員

民間団体 (フリースクール等)

教育支援センター「みのり」

教室に入れない

家

未来予想図が描けそうです。 自分で目標を立てて過ごすことができました。

他のことにも積極的に取り組めるようになりました。

安心して勉強できるようになりました。

どんなことでも先生に相談しやすいので、心強いです。

雑感

先の統一地方選挙での「維新」の躍進が大きな話題となっている。しかし所属している議員の中にはとんでもない議員がおり、マスコミでも話題となっている。入管施設で十分な治療が行われず死亡したスリランカ人のウシュマさんの死亡原因について、国会で、なんの根拠もなく、支援団体の病気になるれば施設を出られるとの言葉で淡い希望を抱き、ハンガーストライキを行ったことが死亡の原因だと述べた。本当に無茶苦茶な発言である。多くの外国人が日本の入管制度に不安を抱えている。その中で嘘でもデマでも、自分が思ったことを言えばいいというような議員は国民の代表として失格である。今すぐ議員辞職すべき。